

牛乳生産費調査について

- 調査は、地域別・飼養頭数規模別に配置した全国約500戸（北海道では約250戸）の酪農家のご協力の下、実施。
なお、調査方法は酪農家による記帳を基本とし、職員（専門調査員）による面接聞き取りにより補完。
- 牛乳生産費は、生乳の生産コストの把握を目的としており、成畜（初回分べん）以降の搾乳牛の飼育に要する経費、労働時間を計上。
- 自家育成牛については、成畜時（初回分べん時）の市価評価額に基づき減価償却費を計上。

【牛乳生産費で計上する費目】

費 目		費 目 の 内 容 （ 主 な も の ）
種付料		精液、種付けに要した費用
飼料費	流通飼料費	購入飼料費
	牧草・放牧・採草費	牧草等の飼料作物の生産に要した費用、放牧場、採草地に要した費用（費用価）
敷料費		敷料として畜舎内に搬入された材料費
光熱水料及び動力費		電気料、水道料、燃料、動力運転材料
その他諸材料費		縄、ひも等の消耗材料のほか、他の費目に該当しない材料費
獣医師料及び医薬品費		獣医師料、医薬品、疾病傷害共済掛金
賃借料及び料金		賃借料（建物、農機具など）、きゅう肥の引取料、牛乳検査料
物件税及び公課諸負担		固定資産税（土地を除く。）、自動車税、軽自動車税、自動車取得税、自動車重量税、集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費、農業共済組合賦課金
乳牛償却費		搾乳牛の償却費（自家育成牛の場合には、成畜時の市価評価額を減価償却）
建物費		畜舎、納屋、倉庫、作業所、農機具置場等の償却費及び修繕費
自動車費		貨物自動車等の償却費及び修繕費
農機具費		トラクター、ローダー、ミルカー、バルククーラー等の償却費及び修繕費
生産管理費		集会出席に要する交通費、事務用品、パソコン、コピー機等の償却費、購入費及び修繕費
労働費		搾乳牛の飼育労働、生産管理労働、自給牧草の生産労働
利子		支払利子額、自己資本額に年利率4%を乗じて得た額
地代		借入地の支払地代・小作料、所有地の見積地代（類地の賃借料又は小作料により評価）

牧草費用価の計上範囲

- 本調査は、自給牧草を生産する農家を対象として実施。
- 牧草生産コストを把握し、機械や設備のコストも計上。

費 目	費目の内容（主なもの）
種子費	種子の購入に要した費用
肥料費	購入肥料、自給のきゅう肥・たい肥の費用
農業薬剤費	農業薬剤に要した費用
光熱動力費	農機具の燃料・潤滑油、電力料
諸材料	ビニール等の他の費目に該当しない材料費
賃借料及び料金	農機具の賃借料、コントラクターの委託料
自動車費	貨物自動車等の償却費及び修繕費
農機具費	トラクター等の償却費及び修繕費
建物費	サイロ等の償却費及び修繕費
草地費	草地の整地
労働費	自給牧草の生産労働

牛乳生産費調査における労働時間の計上範囲について

- 調査では、酪農家に日々の労働実態を整理する「作業日誌」を配布し、記帳していただく方法により労働時間を把握。
- 労働時間は作業別に把握しており、それぞれの労働時間には「準備時間」や「後片付け時間」を含めるほか、「住居と畜舎等の往復時間」や悪天候等により作業を一時中断した場合の「待機時間」も加算。

【労働時間の取り扱い】

労働区分			主な労働内容（具体例）
直接労働時間	飼育		家畜の飼育管理（飼料給与、搾乳、敷料搬入・きゅう肥搬出、畜舎の衛生管理）
	生産管理	集会出席	共同機械利用、ヘルパー雇用、畜産組合の打合せ（役員会を除く）
		技術習得	技術講習会、畜産専門書の読書、運転免許の更新
		簿記記帳	経営改善のための簿記記帳、経営分析
間接労働時間	自給材生産等	自給材生産	自給牧草、自給肥料の生産
		修繕	建物、農機具等の修繕
	資材等購入		資材の購入、雇用労働の調達、各種料金の支払い

※それぞれの労働時間は、次の時間を合計したもの。

作業時間

- ・ 準備時間（身支度、材料準備、農機具の点検作業等）
- ・ 往復時間（自宅から畜舎・ほ場までの往復）
- ・ 実作業時間（搾乳牛の飼育管理等）
- ・ 後片付け時間（作業終了後の後片付け）

待機時間

雷雨等の突然の天候変化、農機具の故障、停電等の事故によりやむを得ず、作業を一時休止した時間。ただし、その後、作業を断念した場合は除く。